

広島駅周辺地区の公開空間における広場のネーミングについて ～路面電車が乗り入れる駅ビル空間等に親しみやすい“名前”が誕生しました～

広島市、西日本旅客鉄道株式会社、広島電鉄株式会社の 3 者で構成する TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会※は、令和 5 年 10 月より広島駅及び駅周辺地区のペデストリアンデッキや通路等の公開空間の利活用に取り組んでいます。このたび、広島駅の公開空間にある各広場について名称を新たに決定しました。広場の名称やシンボルマークとともに、これからも各広場が皆様に愛され、「たちまち」行ってみたくなる空間となるよう、公開空間の利活用に取り組んでまいります。

1. 趣旨

広島駅周辺エリアの公開空間について、訪れる人々に新しい体験を提供し、これまで以上に愛着を持ってご利用いただけるよう、それぞれの広場にふさわしい名称を決定しました。



2. 使用開始時期

2025 年 7 月 30 日(水)

※案内図、サイン等の表記は随時更新してまいります。

3. 名称およびコンセプト

広島駅周辺地区の公開空間を水平方向（北口側／南口側）、垂直方向（1 階レベル／2 階レベル）等で区別する名称を与え、それぞれの名称を組み合わせることで、各広場をネーミングすることで、ご利用者に親しみやすく、「どこにある広場なのか」を直感的に分かりやすく工夫しました。

《水平方向：エリアごとの名称》

① 北口側「エキキタ」

「駅の北側」として、広島駅新幹線口周辺エリアが地域の人々から親しまれてきた「エキキタ」の愛称を継承しています。

② 南口側「エキ×デン」

広島駅南口側の商業施設ミナモアおよび広島電鉄の新しい広島駅電停があるエリアは、「(広島) 駅ビルに(路面) 電車が乗り入れる」という唯一無二の特徴に加え、広島駅周辺が地域と地域を結び、「駅伝」のように過去から未来へと歴史の ^{たすき} 襷をつないでいくという思いを込め、「エキ×デン」と名付けました。

《垂直方向：階層ごとの名称》

① 1 階レベル「プラザ」

駅南北に地上レベルでつながり、駅周辺のまちへとにぎわいをつなぐ空間

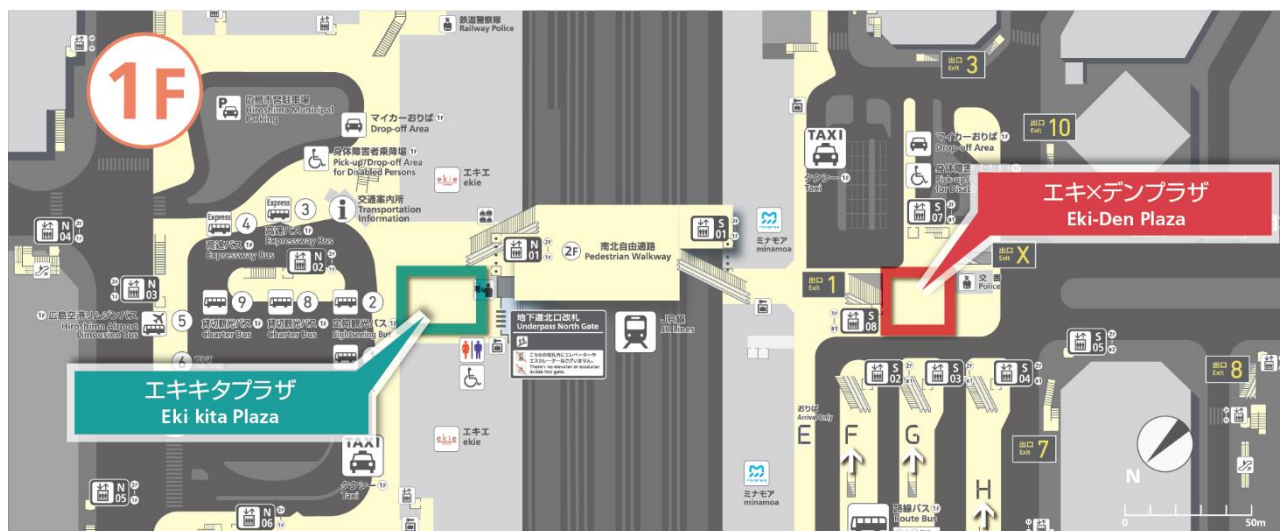
② 2 階レベル「テラス」

駅南北のペデストリアンデッキに接続し、駅周辺のまちを見渡すことのできる空間

③ ミナモアに囲まれた新しい広島駅電停のある空間「スクエア」

買い物や移動のために多くの人々が行き交い、集い、交流する広場

《水平方向＋垂直方向：各広場の名称》



※エキ×デン東テラス、エキ×デン西テラス、エキ×デンプラザについては、現在工事中。

4. 広場シンボルロゴのコンセプトおよびデザイン

各広場の名称（エキキタ〇〇、エキ×デン〇〇）に沿って表示するシンボルロゴも作成しました。シンボルロゴのデザインは、「駅」「電」「北」の文字をモチーフとし、実際の駅ビルの空間や1階・2階のフロアレベルを意識して広島駅の公開空間を西側から見た断面を基に、各名称に込められたさまざまな思いを表現しています。

《エキキタ シンボルロゴ》

「駅」と「北」の2文字をモチーフに、二葉の里エリアから広島駅へとつながるペデストリアンデッキを象徴的に表現しています。

《エキ×デン シンボルロゴ》

「駅」と「電」の2文字をモチーフに、広島駅ビルに路面電車が乗り入れる独特の構造、令和10年度（2028年度）に完成予定の南口ペデストリアンデッキ上の大屋根を表現しています。



▲エキキタ シンボルロゴ



▲エキ×デン シンボルロゴ

《エキキタとエキ×デンの統合ロゴ》

北口ペデストリアンデッキ～南北自由通路～駅ビル～新しい広島駅電停とつながる広島駅エリア全体の一体感を表現しています。両シンボルは、それぞれが独立した個性を持ちながら、互いに調和し連携するデザインとなっています。このデザインには、広島駅周辺が地域と地域を結び、人々が集い交流する場になるという我々の思いが込められています。



▲エキキタとエキ×デンの統合ロゴ

(参考) TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会における今後の主な取組み

- (1) 北口ペDESTロリアンデッキや南北自由通路に設置しているベンチなどの更新
- (2) 冬季のイルミネーション装飾

今後も引き続き広島駅及び駅周辺地区において、公開空間等の利活用により、公共交通の結節点としてはもちろんのこと、水と緑に囲まれた憩いの場として一層魅力的な空間づくりを目指します。また、こうした取り組みにより、都心の東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区の回遊性の向上とともに、中四国地方の中核都市としての機能発揮に貢献してまいります。

※ TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会について

令和4年9月	広島市、JR西日本、広島電鉄の3者で「広島駅及びその周辺地区における公開空間の設定及び利活用に関する覚書」を締結
令和5年3月	取組みを推進していく指針として、ロゴ・スローガンを策定
令和5年9月	TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会を設立
令和5年10月	(広島駅周辺地区公開空間活用実行委員会) 北口ペDESTロリアンデッキや南北自由通路を活用した社会実験を実施
令和6年4月	暫定的な公開空間の利活用を開始
令和7年3月	利活用のエリアを南口に拡大

【覚書締結(R4.9.26)】



【合意内容】

- ・「カミハチ地区との回遊性向上」「中核都市としての機能発揮」を目的に広島駅・駅周辺地区を一層魅力的な空間としていく
- ・このため3者が協力し、駅周辺の公開空間の利活用を推進する

【ロゴ】



【スローガン】

新しい広島駅は、行くたびに、通るたびに、
なにかに touch できて、なにかと match できる。
そこに行けばなにかがはじまる。
「たちまち」、広島駅に集いましょう

【解説】

- ・広島弁で“とりあえず”を意味する「たちまち」と、新たなモノ・コトに触れる「TOUCH」、人や文化が交わる「MATCH」をかけた
- ・公開空間の利活用により、駅・まちの賑わいが相互に広がっていくことを想起させるデザイン・フレーズ
- ・「たちまち」って見たくなる魅力溢れる広島駅周辺地区へ